

◆ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信 / 内外 / 資産複合 / ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	信託期間は無期限です。
運用方針	投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資することを基本とします。 運用方針としては、経済の変動のダイナミズムを先取りしたアセットアロケーションを前提にファンドの組成に取り組む方針を一貫して行います。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限は設けません。 株式への直接投資は行いません。 同一銘柄の投資信託証券への投資は、原則として信託財産の純資産総額の 50% 未満とします。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。(分配を行わないこともあります。)分配金は税引後自動的に全額再投資されません。

## 『ありがとうファンド』

(愛称:『ファンドの宝石箱』)

### 第5期 運用報告書

決算日 2009年8月31日

2008年9月2日から  
2009年8月31日まで

受益者のみなさまへ

皆様の「ありがとうファンド」は8月31日に第5回目の決算を行いました。このことをご報告申し上げますと共に、ファンドを支えてくださっている多くの方々に心より感謝を申し上げたいと思います。

この5年間、常にお客様の立場に立って考える会社でありたいという姿勢を貫き、お客様の負担するコストを少なくすること、お客様とのコミュニケーションを密にすることの為に販売手数料の無料化、各地でのセミナー・研修会の開催、最低購入金額の引き下げなどを実施してまいりました。

直接販売方式の為になかなかお客様に認知されないという努力不足を痛感する事もありますが、お客様からの「安心と信頼」を得ながらファンド仲間の輪を着実に広げていきたいと考えております。

今年も我々のファンドの歩みをご報告いたします。ぜひご一読いただきたいと存じます。この一年間ありがとうございました。

## ありがとう投信

Arigato Asset Management Inc.

東京都台東区上野3丁目19番4号 サカイビル

TEL. 03 (5807) 9710

<http://www.39asset.co.jp>

運用報告書に関するお問い合わせ先

ありがとう投信株式会社  
電話番号 03 5807 9710  
(コンプライアンス部 / 投信委託業務部)

営業日の午前 8:30 ~ 午後 5:30

当社ではインターネット上にホームページを開設し、各種情報提供を行っております。  
<http://www.39asset.co.jp>

◆ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2004年9月1日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 161
1期(2005年8月31日)	10,705	0	7.1	76.0	813
2期(2006年8月31日)	12,526	0	17.0	79.4	3,255
3期(2007年8月31日)	12,681	0	1.2	89.3	6,857
4期(2008年9月1日)	10,075	0	20.6	92.0	6,847
5期(2009年8月31日)	8,878	0	11.9	81.9	7,075

注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は前期比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

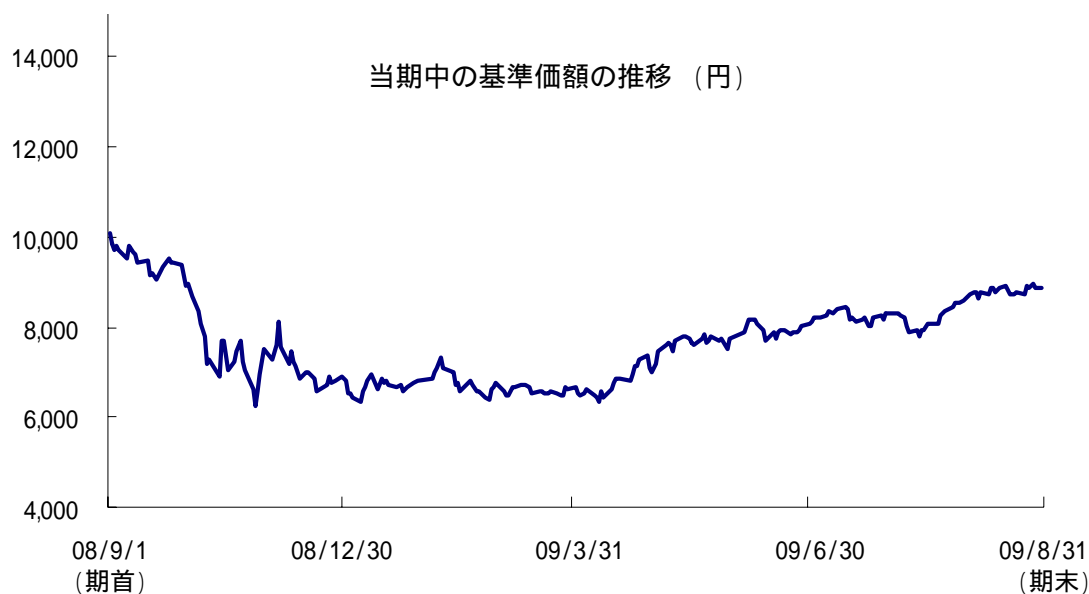
◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準 価額	騰落率		投資信託証券 組入比率
		騰落率	騰落率	
(期首) 2008年9月1日	円 10,075	% -	% 92.0	
9月末	9,172	9.0	89.6	
10月末	7,495	25.6	86.3	
11月末	6,801	32.5	84.6	
12月末	6,802	32.5	84.9	
2009年1月末	6,784	32.7	84.9	
2月末	6,635	34.1	85.2	
3月末	7,080	29.7	85.7	
4月末	7,530	25.3	85.9	
5月末	8,034	20.3	85.9	
6月末	8,178	18.8	84.8	
7月末	8,596	14.7	84.8	
(期末) 2009年8月31日	8,878	11.9	81.9	

注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

◆ 当期中の運用概況と今後の運用方針



**基準価額の推移**

基準価額は11.9%の下落。基準価額は期首の10,075円から期末は8,878円となり、1,197円の値下がりとなりました。

期首	期中高値	期中安値	期末
2008年9月1日	2008年9月1日	2008年10月28日	2009年8月31日
10,075円	10,075円	6,224円	8,878円

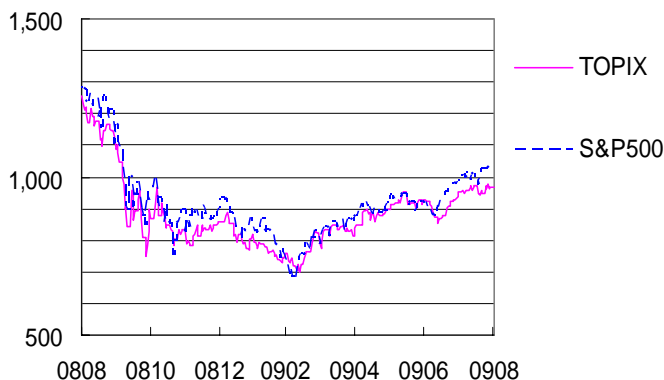
## 当期の金融市場の動向

この1年の金融市場は「百年に一度の危機」といわれるような大きな波乱を経験しました。

2007年から問題が表面化した米国発のいわゆるサブプライムショックが、昨年9月のリーマンブラザーズの破綻をきっかけとした金融危機として世界中を駆け巡ったのです。米国ではゴールドマン・サックスなども商業銀行に移行して5大投資銀行が全て消滅するなど、大手金融機関の破綻・身売り・救済などのニュースがこれでもかと続き、その都度市場を大きく揺るがしました。「大恐慌」という言葉が、新聞等で書きたてられていた時期です。

この頃起こっていたことを一言で言うと、これは『信用の崩壊』でした。巨大な証券会社の破綻を受けて、各金融機関が傷んだ自己資本への対応と自らの資金繰り確保のために殻に閉じこもり、資金の出し手を失った金融市場ではお金が回らなくなってしまったのです。この流れは震源地である米国だけにとどまらず、証券化商品を大量に購入していたヨーロッパの金融機関でも深刻化、金融機関同士が疑心暗鬼に陥って資金を融通しなくなり、銀行間市場は完全にマヒ、その影響は南米やアジアなどの新興国市場にも及びました。さらにこれによる貸し渋りから、設備投資などの主に借りに依存する新規投資が一気に後退、住宅や自動車などのローンも縮小し、金融危機が需要の減退という形で実体経済をも巻き込んでいったのです。

世界各国の政府は金融市場にはこれでもかと潤沢に資金供給をする一方、金融機関に対する資本注入や政府保証の付与などで信用を補完、また、景気刺激のために大規模な財政投資を矢継ぎ早に打ち出しました。これらの緊急対策を受けて、2009年に入ってようやく経済動向は下げ止まりの兆しをみせ、それにつれて金融市場も落ち着きを取り戻しました。



## 当期の運用状況

私たちは、2008年夏頃から「秋以降は荒れる可能性がある」という認識の下、キャッシュの比率を通常よりも高めに維持することでそれを乗り切ろうと考え、『上げて乗り遅れず、下げて致命的なダメージを受けない』ということを目標としていました。

しかし、上述のように、秋以降の市場の荒れ方は、想定をはるかに超えるものでした。結果として、ファンドの基準価額も10月には設定来の最安値をつけてしまい、お客様には大変なご心配、ご迷惑をおかけしてしまいました。本当に申し訳ございません。

そうした中、実際の投資行動としましては、ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007、TMA 長期投資ファンド、ニッポンコムジエイトヨーロッパ・ファンド SA、ニッポンコムジエイトイマージングマーケット・ファンド SA の4本について、昨秋から今春までで少しずつ買い増しを行いました。

また一方、トヨタグループ株式ファンド F については直近に一部売却を行っていますが、これはトヨタグループ株式ファンド F 自体に問題があるというわけではありません。他の組入れファンドの中身も合わせるとトヨタ自動車一社の株式だけでありがとうファンド全体の十数%におよぶ保有比率になっていること、そのリスクを軽減することが主たる理由のバランス調整です。

その他には、朝日 Nvest グローバル バリューストック オープン (Avest-E) を全額売却して ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007 に乗り換えました。これらはどちらも同じ運用会社の指図によるバリューストック投資型のファンドであることから、信

ファンド名	08/09/01	09/08/31	騰落率
さわかみ	14,133	12,800	9.4%
トヨタグループ	11,649	10,340	11.2%
社会貢献	9,557	8,914	6.7%
Avest-E (*)	11,473	8,406	26.7%
TMA 長期投資	9,028	7,736	14.3%
NCヨーロッパ	9,384	7,412	21.0%
NCエマージング	9,575	8,455	11.7%
Alamcoハリス	7,689	6,332	17.6%

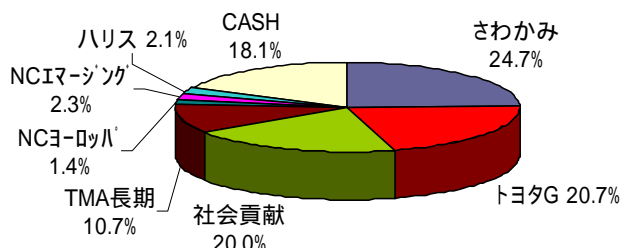
\* 2008年9月に全額売却済み

託報酬の低い方のファンドに集約したものです。

これにより、期末の各ファンドの組入れ比率は右図のようになりました。

### 分配金のお知らせ

今期の分配金につきましては、種々の要素を勘案の上、前期に引き続き無分配とさせていただきます。



### 今後の運用方針

ある程度長い時間軸で見た場合は、ありがとうファンドが行っているような国際型の長期投資において、新興国経済の成長力を無視することはできません。といっても、様々なリスクも非常に高い市場のことですから、ここへの配分をメインにすることも、お客様に長期の資産形成のツールとして利用していただくためには相応しくないと考えています。

したがって、日本株と新興国を中心とした海外株の比率がおおよそ2：1程度となる配分に向けて、徐々にシフトしていくような運用を中長期では想定しています。ただし、それは「コップンコムジエスト・マージン・マーケット・ファンド」SA一本やりで組み入れるということを考えているわけではありませんし、また、ドタンボタンと売買をして無理やりに変更するようなことでもありません。かなり緩やかな変化、変わっていないようだけれどもふと気がつくと変わっていたという程度の動きになると思います。

また、これは相当先のことになるとは思いますが、景気が過熱して金利も高くなり株式市場全般に割高感が強まってくるようなことがあれば、そのときは株式ファンドへの投資比率をファンド全体の2～3割程度まで落としてキャッシュおよび債券ファンド等への投資比率を上げていくことになります。

いずれにしろ、状況に応じた新たなファンドの組入れは今後も不可欠です。この点については保有ファンドのチェックと同様、常に様々な可能性をリサーチしていますし、これは今後も継続していきます。そして、精査の上で確かに宝石だと思えるファンドを見つけたら、積極的に『ファンドの宝石箱(ありがとうファンド)』の中に加えていきたいと考えています。

さて、最後に、こうした長い目で見た大前提を踏まえたうえで私たちが当面予定している運用方針をご説明しておきます。

欧米と比べて金融機関がそれほど傷んでいない、国債もほぼ国内のみで消化しており財政上の制約が相対的に少ない、長く市場が低迷しており上値のシコリが比較的軽い、等といった日本市場の位置づけや優位性から、基本的に今のままの日本株中心の資産配分でしばらくは良いと考えています。

ただ、様々な景気刺激策などの政策効果が薄れてくる2010年以降の景気見通しがまっ二つに割れていることなどからみても、今後は各種経済指標や企業業績が発表されるたびに市場参加者が右往左往し、上下に大きく振れやすい展開となる可能性があるかと私たちは考えています。

したがって、ありがとうファンドでは、引き続き厚めのキャッシュポジションを維持(場合によっては、もう一段厚くすることも検討)しながら、ここしばらくは短期指向の投資家のバタバタに巻き込まれないことに主眼をおいてまいります。そのため、今後はトヨタグループ株式ファンドF以外のファンドにつきましても、もしも一段の急上昇のようなことがあれば、状況に応じて一部を売却しウェイトを減らすことも柔軟に検討していきます。

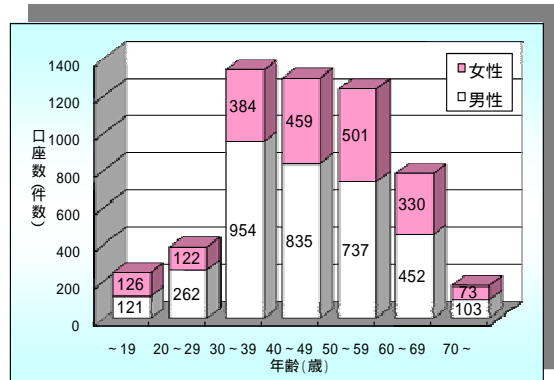
とはいえ、私たち自身が『バタバタ』になっては意味がありませんから、長期投資の視点をぶらすことは決してありません。

### ◆ 直接販売状況

今期は昨年9月のリーマンショックを発端とした世界的な金融危機・信用収縮により、マーケットが大暴落し、急速に経済が悪化しました。そのような中、弊社は基本スタンスを変えずに、セミナー活動等を中心としたありがとうファンドの認知度向上と既存のお客様のアフターフォローを中心に活動してまいりました。具体的には、年間40回以上首都圏及び設立発起人の地元を中心に全国でセミナーを開催してまいりました。また、ホームページや月次レポートの内容も随時見直して改善してまいりました。

顧客サービス面では、税制変更に合わせて特定口座を1月から導入しました。これにより従来通り確定申告しなくてもよい源泉徴収を選択することができるようになりました。また、最低投資単位を10分の1の1000円から引き下げて少額から手軽に誰でも購入できるように致しました。

この一年間の口座数の増加は231口座で、口座数全体では5,499口座（内40口座は法人）となりました。また、激動の一年だったにもかかわらず設定から60ヶ月（5年間）連続で資金流入が継続している状態が続いております。非常に有難いことです。最後になりますが、景気の先行きは不透明で予断を許しませんが、こういう時期こそお客様との直接対話が大切であると考えており、今後もこのような活動を継続していく所存でございます。



### ◆ 1万口当りの費用の明細

自2008年9月2日 至2009年8月31日

項目	金額 (円)
(a) 信託報酬	72
( 投 信 会 社 )	(35)
( 販 売 会 社 )	(29)
( 受 託 銀 行 )	(8)
(b) 売買委託手数料	0
( 投資信託受益証券 )	(0)
合 計	72

注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

### ◆ 当期中の売買および取引の状況

投資信託受益証券

(自2008年9月2日 至2009年8月31日)

銘柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
TMA長期投資ファンド	292,352	180,000		
ALAMCOハリスグローバルバリュー株ファンド2007	179,633	115,000		
NC・ヨーロッパ・ファンドSA	102,315	60,000		
NC・エマージングマーケット・ファンドSA	114,046	60,000		
さわかみファンド	0	0		
社会貢献ファンド	0	0		
トヨタグループ株式ファンドF	0	0	180,000	190,890
朝日Nvest グローバルバリュー株オープン	0	0	125,500	130,996
合 計	688,348	415,000	305,500	321,886

(注1) 金額は受け渡し代金です。また単位未満は切り捨てです。

(注2) NC=ニッポンコムジェスト

- ◆ **利害関係人との取引状況** (自 2008 年 9 月 2 日 至 2009 年 8 月 31 日)  
 期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。  
 (注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定される利害関係人です。

- ◆ **第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況**  
 当期における自己取引はありません。

- ◆ **自社による当ファンドの設定・解約状況** (自 2008 年 9 月 2 日 至 2009 年 8 月 31 日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 元本	取引の理由
千円	千円	千円	千円	期首残高は当初設定時に自社財産の運用を目的として取得。
70,000	0	0	70,000	

- ◆ **組入資産の明細**

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた投資対象ファンドの明細

国内投資信託受益証券	当 期 末(2009 年 8 月 31 日)		
	口 数	評価額	組入比率
	千口	千円	%
さわかみファンド	1,359,313	1,749,165	24.7
トヨタグループ株式ファンドF	1,393,960	1,467,840	20.7
社会貢献ファンド	1,571,542	1,412,031	20.0
TMA長期投資ファンド	974,978	757,266	10.7
NC・エマージングマーケット・ファンドSA	190,646	162,259	2.3
ALAMCOハリスグローバルバリュー株ファンド2007	232,923	148,045	2.1
NC・ヨーロッパ・ファンドSA	132,827	99,342	1.4
合 計	5,856,194	5,795,950	81.9
銘柄数			7

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。組入比率は四捨五入してあります。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

(注3) NC=ニッポンコムジェスト

- ◆ **投資信託財産の構成**

項 目	当 期 末 (2009 年 8 月 31 日現在)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	5,795,950	81.9
コール・ローン等、その他	1,279,183	18.1
投資信託財産総額	7,075,133	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てです。比率は四捨五入してあります。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2009年8月31日現在)
(A) 資 産	7,104,769,744 円
コール・ローン等	1,308,819,341
投資信託受益証券(評価額)	5,795,950,403
(B) 負 債	29,635,964
未払解約金	853,883
未払信託報酬	28,782,081
(C) 純資産総額(A-B)	7,075,133,780
元 本	7,969,501,587
次期繰越損益金	894,367,807
(D) 受益権総口数	7,969,501,587 口
1万口当り基準価額(C/D)	8,878 円

◆ 損益の状況 (自 2008年9月2日 至 2009年8月31日)

項 目	当 期 末
(A) 配当等収益	911,370 円
受取利息	911,370
(B) 有価証券売買損益	524,390,522
売買益	107,741,120
売買損	632,131,642
(C) 信託報酬等	53,304,894
(D) 当期損益金(A+B+C)	576,784,046
(E) 前期繰越損益金	1,385,457,849
(F) 追加信託差損益金	1,067,874,088
(配当等相当額)	(843,025,805)
(売買損益相当額)	(224,848,283)
(G) 計(D+E+F)	894,367,807
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	894,367,807
追加信託差損益金	1,067,874,088
(配当等相当額)	(843,025,805)
(売買損益相当額)	(224,848,283)
分配準備積立金	191,079,023
繰越損益金	2,153,320,918

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記> (本書作成時点では監査未了です)

◆ **お知らせ《当期中の約款の変更》**

● 2009年2月1日 受益権の取得申込単位及び価額の変更

当ファンドの受益権の申込単位について、1万円以上1円単位と定められているのを委託者および指定販売会社が自由に定められるようにするため、約款第12条第1項の変更を行いました。また、当ファンドの受益権の申込価額について、委託者および指定販売会社が0.525%以内の範囲で手数料を定められるようにしている箇所を変更して手数料の規定を廃止するために、約款第12条第3項及び第4項の変更を行いました。

● 2009年2月1日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）

当ファンドの運用投資方針に従い投資信託証券「追加型証券投資信託 朝日 Nvest グローバルバリュース株オープン」を組入れ対象から外しました。

【ありがとう投信では本資料の他に当ファンドに関する詳細な内容の情報等を別途提供する場合があります、ご関心のある方はありがとう投信にお問い合わせ下さい】

《指定投資信託証券の運用内容》

『ありがとうファンド』は、主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。

運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

組入れファンドの選択に当たっては、ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視し、ファンド・オブ・ファンズのパフォーマンスへの寄与を明確にします。選択の基準としては、運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件とします。

組入れファンドの運用内容のチェックとして、基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかどうかも重要な判断基準とします。

1 《さわかみファンド》 第10期（決算日：2009年8月24日）

計算期間：2008年8月26日～2009年8月24日

1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

自2008年8月26日 至2009年8月24日

項 目	金 額
(a) 信託報酬	114 円
(投 信 会 社)	( 83 )
(販 売 会 社)	( 20 )
(受 託 銀 行)	( 11 )
(b) 売買委託手数料	4
(株 式)	( 4 )
合 計	118

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## 組入資産の明細（上位 10 銘柄）

2009年8月24日現在

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率(%)
1	5108	ブリヂストン	ゴム製品	3.11
2	4452	花王	化学	3.01
3	9104	商船三井	海運業	2.89
4	6301	コマツ	機械	2.74
5	6752	パナソニック	電気機器	2.68
6	3436	SUMCO	金属製品	2.44
7	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	2.36
8	4063	信越化学工業	化学	2.07
9	3382	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	2.05
10	6902	デンソー	輸送用機器	1.99

比率は8月24日現在における純資産総額比です。

## 損益の状況

自2008年8月26日 至2009年8月24日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,659,127,519 円
受取配当金	3,650,869,930
受取利息	3,896,060
その他収益金	4,361,529
(B) 有価証券売買損益	15,507,000,780
売買益	16,662,436,162
売買損	32,169,436,942
(C) 信託報酬等	1,927,095,721
(D) 当期損益金 (A + B + C)	13,774,968,982
(E) 前期繰越損益金	9,026,102,205
(F) 追加信託差損益金	74,944,189,667
(配当等相当額)	(96,067,773,408)
(売買損益相当額)	(21,123,583,741)
(G) 合計 (D + E + F)	52,143,118,480
(H) 収益分配金	-
次期繰越損益金 (G + H)	52,143,118,480
追加信託差損益金	74,944,189,667
(配当等相当額)	(96,067,773,408)
(売買損益相当額)	(21,123,583,741)
分配準備積立金	49,176,510,057
繰越損益金	71,977,581,244

注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

2 《トヨタグループ株式ファンドF》 第5期 (決算日:2008年11月13日)

計算期間:2007年11月14日~2008年11月13日

1万口当たりの費用の明細

項 目	前 期	当 期
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 銀 行 )	65円 (54) (4) (7)	50円 (41) (3) (6)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	0 (0)	0 (0)
(c) 保 管 費 用 等	1	1
合 計	66	51

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 保管費用等には、監査費用を含みます。

組入資産明細表  
親投資信託残高

(2008年11月13日現在)

種 類	期 首 ( 前 期 末 )		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
トヨタグループ株 式マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	1,187,362	2,396,691	1,212,875	1,138,283

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

トヨタグループ株式マザーファンド組入上位10銘柄

(2008年11月13日現在)

株式組入上位10銘柄			
	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	50.81%
2	デンソー	輸送用機器	14.52%
3	豊田自動織機	輸送用機器	6.66%
4	アイシン精機	輸送用機器	4.51%
5	ダイハツ工業	輸送用機器	4.06%
6	あいおい損害保険	保険業	3.50%
7	豊田通商	卸売業	3.32%
8	ジェイテクト	機械	2.43%
9	トヨタ車体	輸送用機器	1.76%
10	豊田合成	輸送用機器	1.60%

比率(2008年11月13日現在)は、ファンドの現物株式組入れ=100%とした各銘柄の比率です。  
比率はマザーファンドでの比率です。

## 損益の状況

前期 (2006年11月14日 ~ 2007年11月13日)  
 当期 (2007年11月14日 ~ 2008年11月13日)

項 目	前 期	当 期
(A) 配 当 等 収 益	7,741円	9,966円
受 取 利 息	7,741	9,966
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	138,494,993	1,310,686,129
売 買 益	6,469,883	19,984
売 買 損	144,964,876	1,310,706,113
(C) 信 託 報 酬 等	6,264,970	7,875,799
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	144,752,222	1,318,551,962
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	188,044,083	43,291,861
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	818,099,226	839,687,091
( 配 当 等 相 当 額 )	(623,108,110)	(645,656,161)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(194,991,116)	(194,030,930)
(G) 計 ( D + E + F )	861,391,087	435,573,010
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	861,391,087	435,573,010
追 加 信 託 差 損 益 金	818,099,226	839,687,091
( 配 当 等 相 当 額 )	(624,755,748)	(645,703,300)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(193,343,478)	(193,983,791)
分 配 準 備 積 立 金	210,752,653	249,851,714
繰 越 損 益 金	167,460,792	1,525,111,815

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

### 3 《社会貢献ファンド(適格機関投資家専用)》 第4期 (決算日:2008年9月22日)

計算期間:2007年9月21日~2008年9月22日

#### 1万口(元本10,000円)当りの費用の明細

(2007年9月21日~2008年9月22日)

項 目	当 期
(a) 信 託 報 酬	91円
( 投 信 会 社 )	(80)
( 販 売 会 社 )	(2)
( 受 託 銀 行 )	(9)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7
( 株 式 )	(7)
(c) 保 管 費 用 等	1
合 計	99

(注)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。(各項目ごとに円未満は四捨五入)なお、売買委託手数料および保管費用等は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数

(c) 保管費用等 = 期中の保管費用等 / 期中の平均受益権口数

#### 組入資産の明細

##### 親投資信託残高

(2008年9月22日現在)

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO 社会貢献マザーファンド	千口 1,335,362	千口 1,603,964	千円 1,528,898

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

## ALAMCO 社会貢献マザーファンド組入上位 10 銘柄

(2008年9月22日現在)

順位	銘柄名	組入比率(%)
1	ファナック	3.2
2	クラレ	3.1
3	キヤノン	3.0
4	堀場製作所	2.9
5	伊藤園	2.9
6	トヨタ自動車	2.9
7	キーエンス	2.9
8	シャープ	2.8
9	高砂熱学工業	2.6
10	本田技研工業	2.6

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

## 損益の状況

(2007年9月21日~2008年9月22日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	44,552 円
受取利息	44,552
(B) 有価証券売買損益	456,888,414
売買損	456,888,414
(C) 信託報酬等	14,708,151
(D) 当期損益金 (A+B+C)	471,552,013
(E) 前期繰越損益金	37,549,514
(F) 追加信託差損益金	299,457,074
( 配当等相当額 )	( 178,115,623 )
( 売買損益相当額 )	( 121,341,451 )
(G) 計 (D+E+F)	134,545,425
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	134,545,425
追加信託差損益金	299,457,074
( 配当等相当額 )	( 178,185,162 )
( 売買損益相当額 )	( 121,271,912 )
分配準備積立金	78,430,285
繰越損益金	512,432,784

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

4 《TMA長期投資ファンド 適格機関投資家限定》 第2期 (決算日:2009年5月15日)  
 計算期間:2008年5月16日~2009年5月15日

1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	当期
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 銀 行 )	37 円 ( 31 ) ( 2 ) ( 4 )
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 )	7 ( 7 )
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 )	1 ( 1 )
(d) 保管費用等	8
合 計	53

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等も含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

組入資産の明細 (2009年5月15日現在)

親投資信託残高

(2009年5月15日現在)

種類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
東京海上長期投資マザーファンド	千口 581,707	千口 1,330,469	千円 933,457

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

親投資信託(東京海上長期投資マザーファンド)の組入上位10銘柄 (2009年5月15日現在)

	銘柄名	国名	評価額(邦貨換算金額)	組入比率
			(千円)	(%)
1	NESTLE SA-REGISTERED	ス イ ス	35,457	3.8
2	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL A	ア メ リ カ	34,424	3.7
3	キーエンス	日 本	32,368	3.5
4	信越化学工業	日 本	29,760	3.2
5	POTASH CORP OF SASKATCHEWAN	ア メ リ カ	27,990	3.0
6	テルモ	日 本	26,740	2.9
7	トヨタ自動車	日 本	26,566	2.8
8	JOHNSON & JOHNSON	ア メ リ カ	25,894	2.8
9	花王	日 本	23,748	2.5
10	セコム	日 本	19,708	2.1

(注1) 組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切り捨てています。

損益の状況

項目	当期 自 2008年5月16日 至 2009年5月15日
(A) 有価証券売買損益	212,689,736
売	5,878,278
買	218,568,014
(B) 信託報酬等	3,676,118
(C) 当期損益金 ( A + B )	216,365,854
(D) 前期繰越損益金	25,642,646
(E) 追加信託差損益金 ( 配当等相当額 )	216,415,454 ( 35,923,376 )
( 売買損益相当額 )	( 252,338,830 )
(F) 計 ( C + D + E )	407,138,662
次期繰越損益金 ( F )	407,138,662
追加信託差損益金 ( 配当等相当額 )	216,415,454 ( 35,923,376 )
( 売買損益相当額 )	( 252,338,830 )
分配準備積立金	25,642,646
繰越損益金	216,365,854

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

5 《ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)》第1期(決算日:2008年12月25日)  
計算期間:2008年2月22日~2008年12月25日

1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	当期
(a) 信託報酬	79 円
( 投信会社 )	( 47 )
( 販売会社 )	( 24 )
( 受託銀行 )	( 8 )
(b) 売買委託手数料	18
( 株式会社 )	( 18 )
(c) 有価証券取引税	12
( 株式会社 )	( 12 )
(d) 保管費用等	70
合計	179

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

組入資産の明細（2008年12月25日現在）

親投資信託残高

	当期末	
	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	千口 611,102	千円 373,444

組入資産の明細（上位10銘柄）

2008年12月25日現在

順位	銘柄名	M S C I 業種 10 分類	国	比率
1	ROCHE HOLDING AG	ヘルスケア	スイス	8.3%
2	GROUPE DANONE	生活必需品	フランス	8.0%
3	RECKITT BENCKISER	生活必需品	イギリス	6.3%
4	CAPITA GROUP PLC	資本財・サービス	イギリス	5.7%
5	SYNTHES INC	ヘルスケア	スイス	5.4%
6	SODEXO	一般消費財・サービス	フランス	4.6%
7	ESSILOR INTL	ヘルスケア	フランス	4.5%
8	HENNES & MAURITZ AB	一般消費財・サービス	スウェーデン	4.3%
9	STRAUMANN HOLDING AG	ヘルスケア	スイス	3.9%
10	VEOLIA ENVIRONNEMENT	公益事業	フランス	3.6%

国の別は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

損益の状況

自 2008 年 2 月 22 日 至 2008 年 12 月 25 日

項 目	当 期
( A ) 配当等収益	223 円
受取利息	223
( B ) 有価証券売買損益	160,883,758
売買益	3,104,458
売買損	163,988,216
( C ) 信託報酬等	2,436,855
( D ) 当期損益金 ( A + B + C )	163,320,390
( E ) 追加信託差損益金 ( 売買損益相当額 )	( 77,031,157 )
( F ) 合計 ( D + E )	240,351,547
( G ) 収益分配金	0
次期繰越損益金 ( F + G )	240,351,547
追加信託差損益金 ( 配当等相当額 )	( 697,258 )
( 売買損益相当額 )	( 77,728,415 )
分配準備積立金	626,699
繰越損益金	163,947,089

注1) ( B )有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

注2) ( C )信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

注3) ( E )追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 ( 626,699 円 )、費用控除後の有価証券等損益額 ( 0.0 円 )、および信託約款に規定する収益調整金 ( 697,258 円 ) より分配対象収益は 1,323,957 円 ( 10,000 口あたり 21 円 ) ですが、当期に分配した金額はありません。

6《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第1期(決算日:2008年12月25日) 計算期間:2008年3月7日~2008年12月25日

1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	当期
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 銀 行 )	75 円 ( 45 ) ( 22 ) ( 8 )
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 )	34 ( 34 )
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 )	4 ( 4 )
(d) 保管費用等	45
合 計	158

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等も含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

組入資産の明細(2008年12月25日現在)

親投資信託残高

	当期末	
	口 数	評 価 額
ニッポンコムジェスト・エマージング マーケット マザーファンド	千口 870,723	千円 457,652

組入資産の明細(上位10銘柄)

2008年12月25日現在

順位	銘柄名	M S C I 業種 10 分類	国	比率
1	MTN GROUP LTD	電気通信サービス	南アフリカ	4.9%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	情報技術	台湾	3.8%
3	CHEUNG KONG HOLDINGS	金融	香港	3.6%
4	GOLD FIELDS LTD	素材	南アフリカ	3.3%
5	ITC LTD	生活必需品	インド	3.1%
6	IMPALA PLATINUM HOLD	素材	南アフリカ	3.1%
7	SAPPI LIMITED	素材	南アフリカ	3.0%
8	RESORTS WORLD BHD	一般消費財・サービス	マレーシア	2.9%
9	SOUZA CRUZ SA	生活必需品	ブラジル	2.8%
10	JBS SA	生活必需品	ブラジル	2.8%

国の別は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

## 損益の状況

自2008年3月7日 至2008年12月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	311 円
受取利息	311
(B) 有価証券売買損益	302,100,215
売買益	53,316
売買損	302,153,531
(C) 信託報酬等	2,881,816
(D) 当期損益金 (A + B + C)	304,981,720
(E) 追加信託差損益金	108,998,503
( 売買損益相当額 )	( 108,998,503 )
(F) 合計 (D + E)	413,980,223
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (F + G)	413,980,223
追加信託差損益金	108,998,503
( 配当等相当額 )	( 1,778,293 )
( 売買損益相当額 )	( 110,776,796 )
分配準備積立金	6,047,641
繰越損益金	311,029,361

注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

注3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,047,641円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、および信託約款に規定する金額はありません。収益調整金(1,778,293円)より分配対象収益は7,825,934円(10,000口あたり89円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 7《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド2007(適格機関投資家専用)》

第2期(決算日:2009年3月9日) 計算期間:2008年3月11日~2009年3月9日

### 1万口(元本10,000円)当りの費用の明細

(2008年3月11日~2009年3月9日)

項 目	当 期
(a) 信託報酬	85 円
( 投 信 会 社 )	(66)
( 販 売 会 社 )	(14)
( 受 託 銀 行 )	( 5 )
(b) 売買委託手数料	3
( 株 式 )	(3)
(c) 有価証券取引税	3
( 株 式 )	(3)
(d) 保管費用等	5
合 計	96

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。(各項目ごとに円未満は四捨五入)なお、売買委託手数料および保管費用等は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(d) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(e) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の受益権口数

(f) 保管費用等 = 期中の平均保管費用等 / 期中の平均受益権口数

### 組入資産の明細

#### 親投資信託残高

(2009年3月9日現在)

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO ハリスグローバルバリュース株マザーファンド	千口 7,950,000	千口 8,258,205	千円 2,961,392

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て

## ALAMCO ハリスグローバルバリュー株ファンド 2007 組入上位 10 銘柄

(2009年3月9日現在)

順位	銘柄名	組入比率(%)
1	INTEL CORP	7.4
2	HEWLETT PACKARD CO	4.5
3	PUBLICIS GROUPE	4.2
4	CREDIT SUISSE GROUP	3.8
5	ADECCO SA-REG	3.7
6	SAP AG	3.6
7	BANK OF NEW YORK MEL	3.6
8	CARNIVAL CORP	3.2
9	DAIMLER AG-R	3.1
10	JULIUS BAER HOLDING	3.1

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

## 損益の状況

(2008年3月11日~2009年3月9日)

項目	当期
(A) 配当等収益	152,366 円
受取利息	152,366
(B) 有価証券売買損益	3,186,547,470
売買損	3,186,547,470
(C) 信託報酬等	70,026,601
(D) 当期損益金 (A+B+C)	3,256,421,705
(E) 前期繰越損益金	1,988,766,993
(F) 追加信託差損益金	157,387,172
( 配当等相当額 )	( 3,025,482 )
( 売買損益相当額 )	( 160,412,654 )
(G) 計 (D+E+F)	5,402,575,870
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	5,402,575,870
追加信託差損益金	157,387,172
( 配当等相当額 )	( 3,446,048 )
( 売買損益相当額 )	( 160,833,220 )
分配準備積立金	78,121,041
繰越損益金	5,323,309,739

注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(73,271,073円)費用控除後の有価証券等損益額(-円)信託約款に規定する収益調整金(3,446,048円)および分配準備積立金(4,849,968円)より分配対象収益は81,567,089円(10,000口あたり97円)でありましたが、当期は分配を行いませんでした。